



明和病院だより



2018年11月号

(1) 新任医師のご紹介 (平成30年11月1日付)



★ 形成外科 松森 万里子

この度、明和病院で働かせていただくことになり、大変嬉しく思っております。形成外科医としてはまだまだ未熟で至らない点が多々あると思っておりますが、地域医療に貢献できるよう精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

・専門：形成外科一般

(2) 医師から皆様へ 〈こども達の可能性. *☆〉

最近「発達障害」という言葉をよく耳にし、目にするようになってきました。現在、小中学生の15人に1人に発達障害の可能性があるとされています。

発達障害を定義すると、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもの」となりますが、それぞれの診断基準を満たすこども達ばかりではありません。

わが子は発達障害なのではと思ったことはありますか？なぜそう思ったのでしょうか？集団行動が苦手・友達ができにくい・すぐに喧嘩してしまう・学校に行きたがらないなどがきっかけでしょうか？

最近注目されている発達障害の多くは生まれつきの脳機能障害ですが、その程度はさまざまです。発達障害でなくても、睡眠不足が慢性化していることで発達障害のように見えている事もあります。いずれにしても、発達障害を疑った時、それはお子さんが生きにくさを感じているかもしれないということに気付いたとも言えます。

でもうちの子は違うはず、そのうち何とかなる、誰もがそう思う事でしょう。しかし、この気付きを無駄にしないで子育てに活かして欲しいと強く願います。うちの子は普通と違う、普通に出来ない、なんて勝手に決めつけず、型にはめこまない事で、生まれる可能性は無限大です。無理せず出来る事からで十分だと思います。本当に大切なのは、子どもたちが生きにくさを感じているということに気付いて、それに対して対応してあげることです。



私たち日本人は、国民性から異質なものを嫌う気質が強い傾向にあります。個人の多様性をなかなか理解できず、発達障害とされるこども達を異質と捉えて未来が無いとまで感じてしまう事もあるのです。発達障害かどうか、その傾向があるかどうかに関係なく、個人の多様性と捉えてお互いに理解し合え、こども達が楽しい毎日がおくれる国になっていくといいですね。

子育てしていて集団生活で困ったことや気になる事が続いたら、小児科外来にお気軽にご相談ください。
小児科医長 小野 淳一郎

(3) 健康講座のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演 題：それって、ほんま？「インフルエンザワクチンの虚実」
- ・講 師：非常勤医師 谷田 憲俊
- ・日 時：11月22日(木) 14:00~14:50
- ・場 所：明和病院 南館5階 明和ホール東



(4) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題：冬の感染症対策
～手洗い、マスク装着を正しく行いましょう～
- ・講 師：感染管理専従看護師長 西 真由美
- ・日 時：11月27日(火) 14:00~15:30
- ・場 所：高須公民館(Tel. 49-1312) ※無料(参加自由)



(5) (株) テスティパルより、厨房職員・パート募集のお知らせ



私たちは明和病院で患者さんと職員の方にお食事を提供しております(株) テスティパルです。明和病院で私達と一緒においしいお食事を作る厨房スタッフを募集しています。

また、ご家族・お知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介下さい。勤務時間・待遇などは(株) テスティパル総務部(0120-115-277)までお気軽にお問い合わせください。



◆職員：調理師、(管理)栄養士 ◆パート：調理補助(未経験の方も歓迎)

(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)